

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ケアステきっず					公表日 2025年 3月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	必要なスペースは確保できている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	63%	38%	適切な人員を確保できている。	男性職員が少ないので採用活動を継続している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	63%	38%			玄関に階段があり、スロープなどはない為必要に応じて個別に対応をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	子どもの来所前に必ず清掃や消毒を行い、清潔に保つようにしている。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要に応じて、別のフロアや別の部屋で過ごせるようにしている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	63%	38%	管理者・常勤職員で行っている。	職員全体での参加ができるように調整が必要。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	毎年事業所の自己評価及び保護者のアンケートを行っている。	アンケート回収後の改善策で不十分な箇所もあり改善できていない部分がある。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月のミーティングで意見交換を実施している。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13%	88%	第三者評価は実施していない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	38%	63%			外部研修への参加がしやすい環境作りを行う必要がある。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	5領域に沿った支援プログラムを作成し、HPで公表している。	子どもがより楽しめるプログラムを増やすよう見直しが必要。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	面談を実施し保護者の意見も踏まえ、アセスメントを行ったうえで放課後等デイサービス計画を作成している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	放課後等デイサービス計画を作成する際にミーティングなどで出た内容を踏まえて作成するようにしている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	63%	38%	ミーティングや記録ソフトを通じて共有している。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	13%	日々の活動の記録を電子化することで、職員がいつでも確認できるようになっている。		
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	放課後等デイサービス計画にはできるだけ具体的な支援内容を設定するようにしている。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%			全体ではなく数名の職員でプログラムを設定しているので、分担をしていく必要がある。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	50%	50%	面談で取り組んでほしい活動を保護者に伺ったり、支援中に子どもに直接聞き取りを行なう等して、活動プログラムに反映するようにしている。	活動によっては対象となる子どもが限定されるケースもあるので、様々な子どもが参加できるプログラムの検討が必要。	

児童 支援 状況	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%		毎月のミーティングでの振りかえりとなっているので定期的な振り返りを行う方が望ましい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	63%	38%	日々の支援は記録に残し、放課後等デイサービス計画の更新時等に記録を精査して、改善につなげるよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングは毎月行い、必要に応じて放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	75%	25%		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	63%	38%	子どもが自己選択しやすいよう、子どもにあわせたコミュニケーション方法を取るよう心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	その子どもの状況をよく把握している職員が参加するよう調整している。	会議の日程によっては参加できないケースもあるので、日程調整等に工夫が必要な場合がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	連携が必要なケースの場合、必要に応じて都度電話連絡などで情報を共有するようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校のHPなども確認し、送迎時間など間違いがないかは確認するようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	必要な場合は保育所などを訪問しどのような過ごし方をされているのか、伺いに行ってい	る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	63%	38%		依頼があれば対応をしているが、事業所から積極的な情報提供ができない可能性がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		通所支援連絡協議会への参画以外、積極的に他の機関との連携ができていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	63%	38%	今年度は実施できていない。	外部との交流の場を作れるように検討が必要。
保護者	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	通所支援連絡協議会に参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	放課後等デイサービス計画書更新の都度、保護者との面談を実施するようにしている。	面談を希望されていない方へのアプローチ方法を検討している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25%	75%	実施できていない。	ペアレンツ・トレーニングができる知識や技術の習得が必要。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	重症事項説明書の改定時には家族様に案内を配布して、説明を実施している。	
保育	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	面談を実施した際に伺った意見を尊重して放課後等デイサービス計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		十分な説明時間が設けれていない可能性があるので、説明方法の見直しが必要。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの相談にはできるだけ応じるように努めている。	積極的なアプローチができる可能性がある。

・ 護 者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	年1回、保護者と子どもが一緒に参加できるイベントを行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に迅速に対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	SNSを利用してスケジュールや日々の様子等を発信するようにしている。	SNSをされていない方向けにも何かできるように対応を検討中。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	研修も実施し、十分に注意するように周知している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	75%	25%	絵カード・ハンドサインの利用等、必要に応じて情報伝達手段を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	88%	13%		地域のイベントに協賛する以外に、地域に向けた活動ができてない現状がある。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種のマニュアルを策定し、職員間で共有している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し、研修及び訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	てんかん発作などがある児童には、発作時の対応なども確認し職員間で共有している。	服薬が必要な児童については服薬の預かりなども行き対応をしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	食物アレルギーがある児童のアレルギー対象品目を確認し、提供しないようにしている。	定期的にアレルギー対象食品の聞き取りをする必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	安全計画を作成している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	13%		作成している安全計画を家族等に周知することができていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	ヒヤリハットが生じたときは都度作成し、職員間で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に研修を実施し、職員間でのミーティングでも共有している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	現時点では該当するケースはないが、定期的に身体的拘束適正化に関する研修を行っている。	